



# 念じられ 照らされて

## 「復旧」ではなく「復興」への支援

日野光洋

一月一日に能登半島地震が発生してから半年近く経ちましたが、現地の復興への歩みは順調に進んでいるとはいえない状況であると思います。

「復旧」は、元の状態に戻す作業であり、ライフライン等の復旧は徐々に進んでいるといえます。それに対して「復興」は、被災前の状況と比較して「安全性の向上」や「生活環境の向上」、「産業の高度化や地域振興」が図られる等の質的な向上を目指すことであります。

「復興」は被災者のみなさまが自ら立ち上がり、歩みだすことが始まりといえると思います。しかし、現実には難しいことだと思われまます。倒壊した



六月五日～六日、「飛騨御坊ボランティア委員会」(今回は僧侶、ご門

建物等が残されている光景を目にするたびに現実逃避のところが生まれてしまうことは想像できません。それでも今一度立ち上がるという思いは持つておられると思うのです。われわれにできることは「復興」への支援だと思えます。



<略歴>  
1977年生まれ。益田組桂林教会(本光坊、下呂市森)主管者。飛騨御坊ボランティア委員会委員長。

徒、飛騨地区有志総勢二十二名)で、能登の被災地でのボランティア活動に行ってきました。事前に「災害支援北陸門徒ネット」と相談し、炊き出しと片付け作業のお手伝いを行うことになりました。珠洲市馬縹町での炊き出しは「真宗大谷派興能登ボランティアセンター」が計画しておられた居酒屋形式で行いました。避難所には今なお二十名程度の方が生活しておられるほか、この日は家に戻られた方たちも集まられました。センターのみならず、語り合うなかで、飛騨からの思いを届け、被災された方々の思いもいただきました。「ありがとう!またきてな!」「またくるね!」些細な挨拶の中に関係性がはじまった気がしました。



輪島市門前町のボランティア拠点となる建物では、改修作業のお手伝いを行いました。オーナーの杉野さんは三年前に金沢から移住され、ゲストハウスのオープンに向けて準備をしておられましたが、今回の震災により建物が全壊してしまい、震災後は個人でボランティアを受け入れ、自らもボランティアを続けていたそうです。そんな中、今の建物を売っていただけになることになり、今一度頑張ってみようという思いで「災害支援北陸門徒ネット」を通じてわれわれの存在を知り、お願いしたとのことでした。破損した土壁の撤去、床のフローリング張り、素人のわれわれでは大変な作業でしたが、できるだけのお手伝いを行いました。「今後三年は観光で来ていただくのは難しいだろう、それでもなんとか八月のオープンを目指して

頑張ります。三年間はみなさまのようなボランティアで来ていただける方の拠点となれたら」とおっしゃってられました。翌日には「今回はあまりにも頼もしい面々に、ついハードなお願いをしてしまいました。それでも笑顔で対応いただいたことに大変感謝しております。おかげさまでまた前に進む元気をいただきました。また是非、遊びにいらしてください!」とお礼が届きました。少しでも復興への力になれたかなとうれしく思いました。

今回のボランティア活動では、寄り添い、語り合える関係性を作ることができたという思いがあります。被災されたみなさまは「あまり無理なお願いをするのは申し訳ない」と、このことに困っている、これも手伝ってほしいということはないかなと言いつらいでしょう。そんなみなさまに寄り添い、語り合う中で少しでも「復興」への歩みの力になれたら、お互いに弱さを抱えている人間同士として、支援する側、される側という関係を越えて、人として支えあう関係に進んでいきたいと思えます。

### 8月1日～5日 午前6時30分 夏の晴天講座

- 1日 「無常の風きたりぬれば」  
藤場 俊基 氏 (金沢教区・常讀寺住職)
- 2日 「いと厳しき奈威(地震)にて候  
～安政飛騨大地震に学ぶ～」  
下畑 五夫 氏 (飛騨地学研究会会長)
- 3日 「真実との出遇い  
～親鸞聖人のあゆみに学ぶ～」  
藤元 雅文 氏 (大谷大学准教授)
- 4日 「喪失と共に生きる」  
尾角 光美 氏 (一般社団法人リヴオン代表理事職)
- 5日 「今、生かされている命を考える  
～みつめなおしてみませんか?  
大切な家族のこと自分のこと～」  
末永 賢治 氏 (NPO 法人すえひろ代表)

飛騨御坊からの挑戦状

リアル Splatoon 4 スプラトゥーン

どぼうハンターをやっつけろ!

7月22日の巻 13:30～16:30

7月23日の巻 13:30～16:30

定員: 各日40名

対象: 小学1～6年生 ※中学生以上はスタッフ(ハンター)として参加できます

場所: 高山別院(鉄砲町6) 問い合わせ: 0577-32-0776

申込: QRコードを読み込んで必要事項を記入 →

締切7/19(先着順・定員になり次第終了)

※どちらか1日を選択できます(両日は不可)

内容: おつとめ、イベント、ゲーム、ほとけさまのおはなし

※雨天の時はドミノチャレンジとスーパーO×クイズ大会となります

主催: 飛騨御坊真宗教化センター 青少年部会

# 家族で語らう

## 医療の現場で

### 「生きること」を学ぶ⑥

岸上 仁

苦悩の奥底にある問い(3)

—信じるということ—

これまで認知症や筋萎縮性側索硬化症(ALS)の患者さんの声を通して、人間として生きること

を根底から揺るがす問題を確かめてきました。生きる意味が崩れ、周りを見渡しても何も信じられないものがないという疑いに投げ出されたとき、生命は生きようとして

生きる意味への信頼を失う苦悩を知ったということでした。

そのゴータマが沙門(道を求める人)に出会い、出家したので

す。それはどういう事態なのでしょう。信じられるものが何もないという絶望の中で、いったい何を信じれば再び前に歩み出すことができるのでしょうか。

では私たちは、無常を知ったとき、どういう態度を取りうるのでしょうか。

まず、無常であるならば、なおさらそれが崩れるまえに楽しみたいと思うのではないのでしょうか。

「四門出遊」の物語でも、すぐに出家しないゴータマの姿が描かれているものもあります。医療や介護の現場でも、デイサービスに通ってレクリエーションをして楽しんでおられる方もいます。

それがいけないわけではありませんが、デイサービスに通っていたある方は、「結んで開いて」と

か、ああいうことは空しい、もう少し人間についての学びをしたいとおっしゃいました。

また、確かなものがない、生きる意味を求めて苦しむなら、意味など求めなければよい、という態度もありえます。初めから確かな意味がないのであれば、信じられないといつて苦しむ必要もありません。しかし、あるALSの患者さんはこうおっしゃいました。

「石になつていくみたいでこわい」と。私は最初この言葉を、身体が動かなくなるのがこわいとしか受け取っていませんでした。しかし

それだけではないのではないかと。「石」ということはモノです。モノであれば苦しみはありませんが、喜びもありません。そのように、

苦しむことも喜ぶこともできない、人間として生きられなくなることを恐れた言葉と受け止めるべきではないのでしょうか。人間でありたいから、私が私自身でありたいか

ら、苦悩するのです。

このことについて、宮下晴輝先生は「苦しむという形で、私たちは、真実を求めている」(『はじめての仏教学—ゴータマが仏陀になった』)と述べています。苦悩とはただ無くすべきものだと思つていましたが、そこに人間に

とつて厳粛な意味があると教えていただいた言葉です。私たちは、自分が「いい」と思うものを求め、「わるい」と思うものは避けたい。そう思っているけれど、

もっと奥底で求めているのは、「ほんとう」ということではないのかと。いろいろな計らいをする自分の思いに縛られず、ほんとうに自由に、満足に生きる道を求める人にゴータマは出会った。そういう道があるということに喜び、

再び前に歩み出すことができた。それが、出家の意味ではないかと受けとめています。それは自分の苦悩の奥底に、ほんとうに生きることを求める心があると信じてこ

とができた、ということかもしれません。

## 別院定例法座

午後1時から

### 3日 三日のご坊

7月 講師 日野 益良氏 (桂林教会)

講題 「自力と他力」

### 28日 親鸞聖人ご命日法座

7月 講師 野崎 尚斉氏 (西正寺住職)

講題 「亡き方を偲んで」

8月 講師 小原 宗成氏 (圓龍寺住職)

講題 「彼岸に至る道」

## ひだご坊



URL: <https://hidagobo.jp/sermon/>

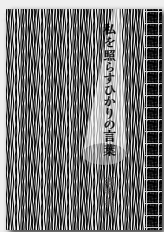
7月1日から8月31日の期間は下記の方々の法話を随時掲載してまいります。

・渡邊 陽子氏 (了因寺坊守) ・夏野 了氏 (満成寺住職)

・藤守 博氏 (一念寺住職) ・野崎 尚斉氏 (西正寺住職)

### 〈書籍案内〉

## 『私を照らすひかりの言葉』



酒井義一 著  
著者の出遇ったさまざまな言葉たちから人生の問いをたずねる一冊。  
800円(税込)  
お問い合わせは 高山教務支所まで (0577-32-0776)

## 大谷婦人会 定例法座

7月11日 (木)

講師 白尾公信氏 (了心寺住職)

8月11日 (日)

講師 三島多聞 別院輪番  
いずれも午後1時から

いつも見守ってくれてありがとう あなたとの語らいの場です

## お盆前にお墓をきれいにしませんか!!

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 各種石工事

石のことなら ご相談・お見積り無料!!

## 株式会社 奥田石材 OKUDA

☎ 0577-33-9601 [本社] 高山市新宮町2498-1(新宮小学校前)

☎ 0577-32-1483 [展示場・工場] 高山市国府町上広瀬137-1

## お仏壇



ご一緒に、「おみがき」しませんか?

参加費 無料 仏具磨き教室

7/28日 29月 30火

午前・午後の部 各回3組  
お電話でご予約ください

## お盆セール

開催中 8/15(木)まで

## 仏壇工芸 ほりお

高山市三福寺町369-7  
TEL 0577-33-6686

## お墓の新設 修繕

お盆前に、お墓の掃除や気になるところ相談受付中

高山墓石店  
☎ 090-7677-4883  
〒506-0814 高山市滝町1362  
<https://www.takayamaboseki.com/>



久寿玉 KUSUDAMA  
平瀬酒造店  
TEL 34-0010

自主出版 あなたの人生を一冊の本に

## 山都印刷株式会社

高山市西之一色町二丁目九〇一八  
TEL 〇五七七-三三一-四九五

## 慈愛・共なる灯り

高山電気工事株式会社

## 株式会社 洞口不動産

土地・売買・中古住宅・分譲住宅・賃貸  
TEL 〇五七七-571-8227  
高山市名田町3-8-6 営業時間 8時30分~18時

## 学研岡本教室

対象 年中並びに小学生  
TEL 〇五七七-1341-7668

## お仏壇 仏事のお悩み

LINEで簡単相談受付中  
ごしょうかん 工匠館  
桐生町2-105  
0577-35-3038

## 保険タイム

〒506-0059 高山市下林町916-1  
※ひだしん西高校前支店となり  
TEL 0577-35-1005